



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 285  
December  
2016

## トピックス

### 関係機関との防災協力推進

JSP21 「災害リスク削減とマネジメント」研修プログラムの実施

### 国際会議への参加

第23回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-23) に参加

Asian Disaster Reduction Center  
アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2016

### ●関係機関との防災協力推進

#### JSP21 「災害リスク削減とマネジメント」研修プログラムの実施

アジア防災センター (ADRC) は、国際協力機構 (JICA) およびシンガポール国の外務省と協力し、2016年11月27日から12月9日にかけて東南アジア地域等の防災担当行政官を対象とした、21世紀のための日本・シンガポールパートナーシッププログラム「災害リスク削減とマネジメント」研修を実施しました。

21世紀のための日本・シンガポールパートナーシッププログラムは1997年5月に設立された事業で、日本とシンガポール間における技術協力について述べられたものです。ここでは、東南アジア諸国連合も対象とされ、防災に係る行政官への研修や能力向上ため、日本・シンガポールの経験を共有することが述べられています。今回は日本で実施する初めての研修で、カンボジア、フィジー、インドネシア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、ベトナムの計7カ国から、中央または地方政府の防災担当行政官計16名が参加し研修が行われました。

研修員は、中央・地方政府、研究機関、高等学校、NPOなどから講義を受け、日本の防災について幅広く学びました。今回の研修においては、シンガポール市民防衛庁から職員の方が来日され、都市災害対応に関する講義が二日間実施されました。また、東日本大震災の被災地である南三陸町を訪問し、現地の観光協会から産業復興に関する話しを伺うことができました。その他、各地域における機関様からも防災に関する説明を頂くことができました。

帰国後、彼らが研修で学んだ知識、技術、手法を様々なプロジェクトに活用し、自国のより良い防災体制を構築していくことが期待されます。当研修実施にあたり、訪問等を受入れいただきました各関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。



### ●国際会議への参加

#### 第23回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-23) に参加

2016年11月15日から18日まで、フィリピン科学技術省、日本の文部科学省、独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の共催により、アジア太平洋地域宇宙機関会議 (Asia-Pacific Regional Space Agency Forum, APRSAF) の年次会合がフィリピンのマニラで開催されました。

APRSAFはアジア太平洋地域における宇宙利用の促進を目的として1993年に設立された、アジア太平洋地域で最大規模の宇宙関連会議です。この会議には、各国の宇宙機関や行政機関、国連等の国際機関や民間企業、研

## 続き

究機関等さまざまな組織が参加しています。また、現在では、APRSAFでは4つの分科会(宇宙利用・宇宙技術・宇宙環境利用・宇宙教育)が設置され、各国の宇宙活動や将来計画に関する情報交換を行うとともに、災害や環境など共通の問題解決に向けた具体的な国際協力活動を行っています。

今回、ADRCは宇宙利用分科会のワーキングに参加し、「センチネルアジア」の活動について報告を行いました。「センチネルアジア」は、地球観測衛星画像などの情報を災害管理に活用しようとする活動です。ADRCは、1996年からこのセンチネルアジアの枠組みの中で、災害発生時におけるメンバー国等からの緊急観測の要求の窓口としての審査、宇宙機関との連絡調整等の役割を担っています。

2016年には、この活動が10周年をむかえて、今回のAPRSAFでは10年間における緊急観測の活動報告を行いました。報告の中においては、現在では7つの機関がDPNとして参加していること、近年の緊急観測が増加傾向にあることについて説明しました。さらに、ベトナムやミャンマーでの優良事例についても紹介しました。一方で、各国内でのデータ共有についてはまだ工夫が必要であると補足しました。

### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。